

リンゴ新品種「こうたろう」の品種特性

園芸試験場

1 取り上げた理由

リンゴでは中生の優良品種が欠けることから、様々な品種の検索を行ってきた中で、「リンゴ盛岡56号」が有望品種候補として注目されていたが、平成10年に「こうたろう」として品種登録された。宮城県でも「こうたろう」について検討した結果、食味良好で豊産性でもあり、今後中生の主要品種になると考えられることから、参考資料とする。

2 参考資料

1) 来歴

昭和51年に農林水産省果樹試験場りんご支場において、「ふじ」に「はつあき」を交雑。

2) 樹体生育の特徴

樹勢は強く、樹姿は開張性である。短果枝の着生が多く、えき花芽の着生も多い。「群馬名月」、「秋映」、「新世界」とは交雑不和合であるが、「ふじ」などの主要栽培品種との交雑和合性は高い。収穫期は10月下旬で、「ジョナゴールド」とほぼ同時期である。生理落果は少なく、豊産性である。斑点落葉病には抵抗性、黒星病には罹病性である。

3) 果実の特徴

果実の大きさは250 g前後で、果形は円形、果皮色は濃赤である。果面にサビの発生は見られないが、年により梗あ部に小さな亀裂を生じる場合がある。糖度は14.0～15.0でやや高く、甘酸適和で芳香を有し、食味は優れている。日持ち性は「ふじ」より劣るが、貯蔵可能期間は普通貯蔵で25日、冷蔵で70日前後である。

表ー1 「こうたろう」の品種特性（平成7～10年の平均）

品 種	満開日 (日)	収穫始 (日)	1果重 (g)	硬度 (lb)	糖度 (Brix)	酸度 (%)
こうたろう	5.10	10.16	245	16.7	13.7	0.37
ジョナゴールド	5.3	10.14	368	14.3	13.3	0.48
ふじ	5.5	11.16	309	15.1	15.6	0.41



図ー1 「こうたろう」

3 利活用の留意点

- 1) 「ふじ」よりやや小玉であることから、摘果を早めに行う。
- 2) 日持ち性が「ふじ」より劣ることから、適期収穫に努める。

(問い合わせ先：園芸試験場栽培部 電話022-383-8132)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間 果樹の優良品種の選定と栽培法の確立 平成3～10年

2) 参考データ

表-2 「こうたろう」の生育概況と樹体生育

	年次	発芽期 (月日)	展葉期 (月日)	開花期(月日)			収穫期(月日)	
				始	盛	終	始	終
こうたろう	平成7年	4.10	4.21	5.3	5.6	5.15	10.6	10.27
	平成8年	4.8	4.27	5.13	5.21	5.28	10.11	10.17
	平成9年	3.30	4.20	5.2	5.6	5.13	10.23	11.1
	平成10年	3.30	4.15	5.2	5.6	5.14	10.23	10.26
	平均	4.4	4.21	5.5	5.10	5.18	10.16	10.26
ふじ	平成7年	4.4	4.17	4.30	5.5	5.12	11.15	11.29
	平成8年	4.2	4.22	5.7	5.15	5.24	11.14	11.25
	平成9年	3.29	4.18	4.29	5.3	5.8	11.20	12.2
	平成10年	3.31	4.10	4.24	4.29	5.7	11.13	11.24
	平均	4.1	4.17	4.30	5.5	5.13	11.16	11.28

表-3 「こうたろう」の果実品質

	年次	1果重 (g)	地色	表面色	硬度 (lb)	糖度 (Brix)	酸度 (%)
	平成8年	176	6.0	赤	19.0	13.6	0.34
	平成9年	285	7.3	濃紅	15.2	14.0	0.37
	平成10年	259	5.9	赤	14.8	13.0	0.38
	平均	245	6.4	—	16.7	13.7	0.37
ふじ	平成7年	257	5.2	赤	16.1	15.7	0.40
	平成8年	305	6.7	濃紅	15.2	15.5	0.36
	平成9年	316	4.2	濃紅	14.6	15.2	0.36
	平成10年	357	7.6	赤	14.4	15.8	0.50
	平均	309	5.9	—	15.1	15.6	0.41

注) 地色は、農林水産省果樹試験場基準ふじ(地色)用カラーチャートを使用

表-4 「こうたろう」の交雑和合性

和合性品種	不和合性品種
さんさ, つがる, あかね, 千秋, ゴールデン・デリシャス 紅玉, デリシャス, ジョコゴールド, 王林, ふじ	秋映, 群馬名月, 新世界

3) 発表論文等 なし